



# 自己資金不要で独立開店できるビジネスモデル 『KAMPO煎専堂』が全国 100 店舗 漢方セルフ煎じ体験を身近な薬局・薬店でも

漢方の製造販売を行なう株式会社タキザワ漢方廠かんぽうしょう（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：瀧沢努）が全国で展開している、薬局・薬店内で漢方煎薬を飲むことができる『KAMPO煎専堂』かんぽうせんじどうの加盟店が、9月30日に100店舗となりました。

『KAMPO 煎専堂』加盟店は、1包 350 円（税別）の漢方煎薬（第 2 類医薬品）を購入者自身が煎じて飲むことができる、「漢方セルフ煎じコーナー」を店舗内に併設した薬局・薬店です。

集客対策に苦慮する取引先への支援事業として当社が 2015 年 5 月に開始したプロジェクトで、新たなビジネスモデルを構築することで総事業費約 5 億円を投入し、今年度末までに 300 店舗、事業開始から 3 年後となる 2018 年 4 月末までに 1,500 店舗達成を目指します。



『KAMPO 煎専堂』加盟店 左から「五十嵐薬品」(福島県会津若松市)、「薬のひまわり」(愛知県豊田市)、「ひだか薬品」(鹿児島市)

## ■減少し続けている「街の薬局・薬店」との共存共栄を目指して

新たなビジネスモデル構築の背景には、「街の薬局・薬店」の顕著な減少傾向がありました。長きにわたる国内の経済低迷に加え、ドラッグストアの店舗大型化や郊外進出、医薬品のインターネット販売・コンビニ店頭販売解禁などが影響し、「街の薬局・薬店」は減少し続けています。

ここでの「街の薬局・薬店」は、大手ドラッグストアや調剤薬局を除いた、昔ながらの薬局・薬店を指しています。創業以来、「街の薬局・薬店」と直接取引を行ってきた当社では、取引先と購入者の声に耳を傾けた結果として“昔ながらのスタイル”を復活・永続させることが、両顧客の満足度向上に繋がると考えました。昔ながらのスタイルとは、健康相談や体調管理のために先ず医療機関に行くのではなく、「街の薬局・薬店」を訪れるというもので、インターネットが普及する 1980 年代頃までは当然の光景でした。一方で、漢方や「街の薬局・薬店」へのマイナスイメージ「古い」

「高い」「入りにくい」が未だ払拭されていないことも大きな問題であり、「街の薬局・薬店」離れの一因となっていることは否めません。

そこで当社は「街の薬局・薬店」の集客ツールとして、漢方煎薬が1杯350円(税別)で体験できる「漢方セルフ煎じコーナー」の設置を推奨する事業に着手しました。

通常 30 分程度直火で煎じる(煮だす)漢方煎薬も、「セルフ煎じコーナー」であれば、専用の耐熱容器に約 300ml の水と漢方煎薬1包を入れて電子レンジで 5 分加熱するだけで、つくりたての漢方煎薬をすぐに飲むことができます



## ■当社が全面支援することで「加盟店に負担の少ない」ビジネスモデルに

『KAMPO煎専堂』加盟店制度は、一般的なフランチャイズ制度とは異なり、契約金・保証金・ロイヤリティなどを一切必要としない独自のシステムです。加盟資格も既存顧客だけではなく、新規契約を含む「タキザワ漢方廠の取引先」であることのみです。

これまでは「薬局等構造設備規則」の取り扱いが自治体ごとに異なったため、コーナーを設置するには困難を伴いました。しかし、当社が経済産業省と厚生労働省に見解を求めた結果、今年6月に「漢方セルフ煎じコーナーの設置は同規則に抵触しない」とする“国のお墨付き”を得ることができました。これが契機となり、毎月の加盟店申し込み件数は右肩上がりに急増しています。

また、コーナー設置のために必要となる費用は「スターターセット」の購入代金68,040円(税別)のみで、漢方煎薬・電子レンジ・耐熱ポットなどコーナー導入用品一式がセットになっています。

役所への各種届出や店舗レイアウト変更など、開設準備についても全面的に当社が支援します。コーナー設置後も担当者が毎月訪問してコーナーの衛生状態を確認するほか、購入者とのコミュニケーション手法などについても助言します。また、加盟店となることで当社主催の勉強会・研修会に参加することができ、定期的な情報提供や各種データの共有も行います。



▲加盟店用のオリジナル・ロゴマーク

### 【スターターセット(写真は一部のみ)】

- ・漢方煎薬 24 種類
- ・健康茶 15 種類
- ・600W 電子レンジ
- ・耐熱ポット
- ・トング
- ・専用紙コップと蓋
- ・ロゴシール
- ・ロゴポスター
- ・店外用のぼり
- ・衛生管理表
- ・接客マニュアル

## ■加盟店制度に「オーナー紹介型」と「独立支援型」も併設

『KAMPO 煎専堂』加盟店制度には、当社が開店準備資金を負担する2タイプの新規出店制度も設けています。

ひとつは、商業施設などからの出店オファーに対し、店舗運営者として既存取引先を紹介する「オーナー紹介型加盟店制度」です。当社の取引である先薬局・薬店経営者の身内または店舗従業員などを運営者として想定しており、補助金としてテナント料の一部を当社が負担する制度です。

もうひとつは、漢方薬局・薬店の経営者候補を公募する「独立支援型加盟店制度」です。独立支援型加盟店の経営者候補は、原則として年齢・性別・学歴・職歴などを問いません。東京・浅草にある加盟店のモデル店舗で販売員として半年から1年程度勤め、その間に接客や経営方法などにつ

いて習得していただき、人柄と店舗経営意欲を重視する適任者基準により最終判断します。

新店舗開店に向けては、当社と独立経営者は、契約期間3年の「業務委託基本契約書」を取り交わします。独立経営者は、当社から売上金の一定割合の営業手数料を受け取り、開店準備や店舗運営にかかる仕入代金・テナント料・販売員給与・広告宣伝・売上管理などの全費用は当社が負担します。

両制度による新規加盟店はいずれも当社製品の専売店となりますが、開店から3年経過した後に、当社からの支援が終了する「完全独立店舗」へと移行します。

しかし、これらの加盟店はフラッグショップとしての役割も担うことから、出店地は主要都市やターミナル駅などの大型商業施設に限定します。第1号店は、横浜みなとみらいの商業施設「Colette・Mare」(JR桜木町駅前)に11月16日オープンする予定で、以降は関東各県や関西地方などへの出店を計画しています。

当社では、取引先や独立希望者に負担の少ない加盟店制度など、他に類を見ないビジネスモデルを構築して事業展開することで、街の薬局・薬店の活性化を図るとともに、漢方煎薬の普及促進活動を積極的に進めてまいります。

## 【会社概要】

社名： 株式会社タキザワ漢方廠(かんぼうしょう)  
代表： 代表取締役社長 瀧沢 努(たきざわ つとむ)  
本社： 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町 2-623-1  
ホームページ： <http://www.takizawa.asia>  
事業内容： 医薬品、漢方煎薬、化粧品、清涼飲料水、健康食品などの製造および販売、漢方煎薬販売店『KAMPO 煎専堂』の運営



生活習慣病対策に役立つ健康食品3製品  
左から『若蘇源』『循環元』『万寿霊茸』



肌本来の力を生かすスキンケア  
『オゾナシリーズ』

＜本件に関するお問い合わせ先＞

タキザワ漢方廠広報事務局 担当：佐藤由里

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

携帯：080-5196-5438 E-mail：pr@real-ize.com